

「(仮称) ひきこもり相談窓口」の開設について

1 主旨

8050問題等ひきこもりに関わる課題が社会問題となる中、令和元年10月25日付厚生労働省事務連絡「市町村におけるひきこもり相談窓口の明確化と周知等について」を受け、各市区町村は支援を要する方に確実に支援が届く体制整備が求められている。こうした中、区では、令和3年3月に「世田谷区ひきこもり支援に係る基本方針」を策定し、「ひきこもりの状態を含む、社会との接点が希薄な方や社会との接点がもちづらい状況にある方とその家族が、気軽に相談・支援につながることができ、当事者が自分らしく暮らすことができる地域づくりをめざす」ことを基本目標に掲げ、ひきこもり支援を推進している。

同基本方針に基づき取組む施策目標の一つである「相談窓口の明確化、支援機関相互の連携強化」の実現のため、国の重層的支援体制整備事業を活用し、令和4年4月に、生活困窮者支援機関のぷらっとホーム世田谷(以下、「ぷらっとホーム」という。)と、若者支援機関のメルクマールせたがや(以下、「メルクマール」という。)を同一建物内に移転させ、年齢を問わないひきこもり相談窓口である「(仮称) ひきこもり相談窓口」(以下、「ひきこもり相談窓口」という。)を開設する。併せて、メルクマールと一体で世田谷若者総合支援センターの機能を果たしているせたがや若者サポートステーション(以下、「サポートステーション」という。)も移転する。

2 移転及び「ひきこもり相談窓口」の開設について

これまでひきこもりについては、抱えている課題別の窓口で相談を受けていたが相談先が分かりづらく支援につながりにくい状況であった。今後は、窓口を一本化することで、分かりやすく相談しやすい環境が整う。また同一建物内に移転することにより、39歳以降の方の引継ぎもスムーズになる。

なお、ぷらっとホームは新型コロナウイルス感染症の影響により業務量が増大しているため、当面の間、別に賃借している民間ビルを活用して、ぷらっとホームの一部業務を行う。

(1) 移転先(開設場所)

世田谷区太子堂4-3-1(STKハイツ2階~5階) 延べ面積687.31㎡

【移転後】太子堂4-3-1 STKハイツ			【現在】	
5階	メルクマール	170.38㎡	池尻2-4-5 (世田谷ものづくり学校3階)	157.50㎡
4階	サポートステーション	170.38㎡		130.95㎡
3階	ぷらっとホーム *ひきこもり相談窓口	346.55㎡	太子堂1-12-40 (グレート王寿ビル6階)	290.89㎡
2階	ぷらっとホーム			
1階	図書館カウンター三軒茶屋			

(2) 開設年月日

令和4年4月5日(火) 予定

(3) 所要経費(概算)

○令和3年度 8,745 千円

* 3次補正で要求

* 重層的支援体制整備事業交付金(多機関協働事業)を充当予定(補助率3/4)

(内訳) ①改修工事・電話工事費 3,283 千円

②什器購入費・その他経費 2,077 千円

③STKハイツ賃料(令和4年3月分) 3,385 千円

○令和4年度 4,664 千円

(内訳) ①事務室移転作業費 3,577 千円

②グレート王寿ビル賃料(令和4年4月分) 1,087 千円

③グレート王寿ビル原状復帰費用 現在確認中

* STKハイツ賃料(令和4年4月分以降)等、年間維持経費は含めず

(4) 「ひきこもり相談窓口」の相談・支援イメージについて
別紙のとおり

3 今後のスケジュール(予定)

令和3年9月 区議会第3回定例会 * 3次補正予算案の提出

令和4年3月 STKハイツ改修工事、電話工事等
区のおしらせ等で周知

令和4年4月 移転及び「ひきこもり相談窓口」開設

【別紙】「ひきこもり相談窓口」の相談・支援イメージ図

